

## 一般シンポジウム S01

薬学生・薬剤師に実践的な EBM 教育を進めていこう！

Let's challenge practical evidence-based medicine educational program for pharmacy students and pharmacists

清水 忠<sup>1</sup>, 安原 智久<sup>2</sup>

<sup>1</sup>兵庫医療大薬, <sup>2</sup>摂南大薬

医療現場において、添付文書や医薬品インタビューフォームの情報だけでは解決できない臨床上の疑問に対して、その解決策を見つけるために、Evidence-based Medicine(EBM) の概念は有用なツールであり、今後、薬剤師も EBM を積極的に実践していくことが求められている。また、2015 年度入学生より実施される改訂 6 年制薬学教育モデル・コアカリキュラムにおいて、データベースからの医薬品情報の入手および原著論文の質の評価の実践といった技能の項目が設定されたことから大学教育においても、実践的な EBM 教育が求められつつある。

本シンポジウムでは、まず、最初のシンポジストが、全国薬系大学・薬学部に対して行ったアンケート結果を紹介し、薬学部の EBM 教育の現状を明らかとする。これを受けて、4 名のシンポジストそれぞれの立場から、薬学部 3 年次における取り組み、薬学部 4 年次事前実習での取り組み、大学病院における実務実習生への取り組み、生涯教育における取組について紹介する。本シンポジウムによって EBM 教育に携わる指導者の相互理解が進み、より実践的な EBM 教育が進んでいくことを期待したい。